

改悪派遣法の成立強行

衆院本会議
自公などが
歴史的暴挙
「常用代替防止」
覆す
高橋議員が反対討論

派遣労働の期間制限をなくし、「正社員ゼロ」社会に道を開く労働者派遣法改悪案の採決が11日の衆院本会議で強行され、自民党、公明党などの賛成多数で可決・成立しました。日本共産党、民主党、維新の党、社民党、生活の党は反対。国会周辺には多くの労働者が駆けつけ、歴史的暴挙に抗議し「悪法は実施させない」と訴えました。

衆院本会議で採決された改悪案は、衆院通過後、参院で施行日を9月1日から30日に変更するなどの修正をしたため、改めて衆院に回付されたもの。衆参両院での審議では、「正社員への道を開く」などとした政府の論拠は破綻し、塩崎恭久厚生労働相がともに答弁できなくなるなかで、数を頼んで押し通したものです。

日本共産党の高橋千鶴子議員は反対討論で、「臨時的・一時的」「常用代替の防止」としてきた派遣労働の大原則を根底から覆す重大な改悪だ」と批判しました。法案の狙いは、派遣労働者に直接雇用への道を開く「労働契約

申し込みみなし制度」(10月1日施行)を発動させないことにあると高橋氏は指摘。「派遣切り」防止から生まれた「みなし制度」について、「施行のたった1日前に本法案が施行され、手にするはずの直接雇用の権利を『なかったこと』にされる。こんなことが許されるのか」と糾弾しました。

さらに、施行日まで20日間しかなく、まともな施行などできないと批判。改悪案が昨年2度も廃案になったうえ、今回も審議中に与党が法案を修正したことについて「政府・与党が自ら欠陥を認めたらにほかならない」と指摘し、法案は廃案以外にないと主張しました。

統幕長発言 首相を追及 参院安保特 仁比氏が国会招致求める

日本共産党の仁比聡平議員は11日の参院安保法制特別委員会で、河野克俊統合幕僚長が10日の記者会見で昨年末に訪米した際の米軍幹部との会談を記録した内部文書について「同じ題名のもものは存在した」と認めたことをあげ、会談の身をただすため、同氏の国会招致をあらためて求めました。

内部文書は、仁比氏が2日の同特別委で暴露。戦争法案の閣議決定(5月)のはるか前に、河野氏が米軍幹部に成立時期を「来年夏までに」と伝達するなど、自衛隊の暴走と対米従属の実態を示しています。防衛省は「同一のものはない」として内部文書の国会提出を拒んでいます。

仁比氏は「問題は、統幕長が米側とどんなやりとりをしてきたのか、その中身だ」と指摘。河野氏が米軍幹部との会談のなかで、垂直離着陸機オスプレイの強行配備について「不安定性をおおるのは一部の活動家だけ」と事実をねじ曲げて発言していたことをあげ、「首相が自ら確かめるべきだ」とたどしました。

安倍晋三首相は「防衛大臣がすでに統合幕僚長から直接聴取し、オスプレイの安全性に対する地元の不安にかかる認識についても不適切な点はなかったと判断している」と答弁しました。しかし、仁比氏がオスプレイの佐賀空港への配備に対する地元の認識についてたどすと、首相は「現時点で、地元の了解は得られていないと認識している」と答えざるをえ

第17回
奈良赤旗まつり
11月7日(土)
午前10時～
会場 奈良100年会館
大ホールと時の広場
主催 共産党奈良県委員会

ませんでした。仁比氏は「民意に背を向ける統幕長の発言は言語道断だ」と厳しく批判しました。また仁比氏は、オスプレイの広域整備拠点(リージョナル・デポ)の日本設置を「検討対象」と発言した問題を取り上げ、運用面に加え整備面の「日米一体化」まで「軍軍」間の暴走を進められようとしていると批判しました。

低所得者対策いうなら 消費税増税中止を 還付は不公平 大門氏が指摘 参院財金委

日本共産党の大門みきし議員は10日の参院財政金融委員会で、消費税率を10%に引き上げる際に財務省が還付を検討している問題を取り上げ、低所得者対策をいうなら消費税増税は中止するよう求めました。

財務省案は、買い物をした際にいったん10%分の消費税を支払った後に、申請して2%分を受け取る仕組み。マイナンバー(共通番号)制度を使い上限額も定めるとしています。

大門氏は、マイナンバー制度はそもそも、消費税還付を想定したものではありません。上に、カードは任意であることから、マイナンバーカードを持たない人は還付を受けられなくなり、税の公平性から見ても問題だと批判しました。

さらに、マイナンバーカードの読み取り機器の購入を求めるなど中小事業者に事務・経費の負担を強い、業者間の格差につながる懸念も示し、「あまりにも世間を知らない案であり、こんなことをするのなら消費税増税は中止するべきだ」と主張しました。

2015, 09, 15 NO, 727
日本共産党
磯城郡議員団だより
芝 和也 Eメール info@k-shiba.jp
川西町結崎 862-7 0745-43-2415
吉田 容工 Eメール katunori_yosida@ybb.ne.jp
田原本町大木 113-5 090-5257-4446
森 良子 Eメール qfndg008@ybb.ne.jp
田原本町鍵 281-1 0744-33-8570
池田 としお Eメール uvkk87386@zeus.eonet.ne.jp
三宅町屏風 440-5 0745-43-2661



学校給食

残さ調査結果

決算委員会で小学校の給食について質しました。全小学校とも自校方式ですが、現在、南小学校と田原本小学校と北小学校は調理をダイシヨクに委託しています。

去年は、田小と北小を外部委託した結果、賃金は一千万円減りましたが、委託料は三千二百万円増えました。決算資料として学校給食残量調査を請求しました。

出てきた資料は大変興味のあるものでした。ごはんは、東小一七キロ、北小三五一キロ、田小五〇八キロ、南小三一二キロ、平小二七キロでした。おかずは、東小九キロ、

北小三八一キロ、田小五二一キロ、南小二五七キロ、平小五三二キロでした。ごはんもおかずも、直営の学校より外部委託の学校の残さが桁はずれに多いという数字でした。

この数字について説明を求めましたが、「無理やり食べさせないでほしい」という依頼が一件あったというもので、全く説明がつかない状態でした。外部委託の調理員さんも一生懸命頑張っておられますので一概に判断できませんので、ちゃんと分析したうえで決算委員会に臨むよう求めました。

田原本町 議会議員 吉田容工



負担増は事実

大変な被害になってしまいましたね。記録的な豪雨による水の勢いに、改めて自然の猛威の凄まじさを見せつけられました。私も日本共産党としまして、この大災害に関して災害対策本部を設置し、救援に各地から集中しています。被災者の皆さんには心からのお見舞いを申し上げます。

さて、丁度この台風が列島を南から北へ横断していた十日の木曜日、川西町の九月議会が始まりました。川西町議会では、毎回そうですが、初日の本会議冒頭に、行政一般に関して自由に質問が出来る一般質問から始まります。

今回の私の質問では、『だより』725号でもお伝えしていましたがよう

に、医療分野に関して、特に経済的困窮者を中心に、保険料の減免制度の新たな整備や、医療費の病院窓口等での個人負担の軽減策について、川西町が独自の基準を設ける事で、対象となる皆さんの負担軽減に繋がる取り組みを求めました。

二十分の持ち時間内には話が詰まりませんので、次回以降に積み残しとなりましたが、現下の医療を取り巻く環境について、住民負担が膨らんでいる事は事実で、それらを軽減する手立てがあれば良いと思う旨、町長も応えてはりますんで、厳しい状況についてはご承知です。

川西町議会 議員 芝和也



一般質問①

9月9日、三宅町議会での一般質問と議案に対する総括質問が行われました。私は、「ごみ問題について」「石見駅係員について」「国民健康保険税の医療費に子ども医療費に付いて」「介護保険に付いて」の4項目を三宅町長の見解をただしめました。答弁の要旨をお知らせします。

「ゴミ問題については、平成19年10月1日から19年10月1日までの有料化を実施し、平成26年度は約1848トンで平成20年度より約152トンが減量化されています。焼却場の広域化に向けて収集計画を必要に応じて検討してまいります」

対策については「近鉄の一方的な方針。町として要望を近鉄、国交通に駅係員の無配置化の撤回と駅係員の配置を義務づける法律整備を求める要望書の提出」をしていく。駅係員の配置化について、町独自で財政を確保し、まず近鉄と交渉を行い、石見駅の利用者が田原本町や天理市に財政負担の援助を要請したらどうかとの問いに「町独自の財政負担は多額になるので」という答弁で、住民の要望解決へ積極的姿勢を示しませんでした。今後住民生活も守るために要望実現のためには、町独自の財政負担は多額になるのでは」といいます。



いつ実施?

中学校給食

去る4日から9月議会が開会されています。7日の一般質問では中学校給食について質問しました。町長は給食実施時期の方向性と実施時期を聞いたのですが、なぜか町長でなく教育委員会が答えられました。

私は「町民の方々の長年の希望が実って、中学校給食の実施に向けて出された事に対し、多くの町民が喜び、我が子が中学校を卒業する迄に給食を食べさせてあげたい」と期待して待つておられます」と訴え、実施の時期を決めてから逆算した取り組みのスケジュールをまとめるべきではないかと主張しましたが、そうはなっていないようです。

今迄、7、8月と2回の中学校給食検討委員会を開き、3回目の9月はセンター方式の三郷町、自校式の安堵町を現地視察されるそうです。

大切な方式について私は「自校式は子どもたちが匂いが届き、出来たてが食べられる方が、食中毒などの事故が発生しても一校でくい止められます。それに對してセンター方式は、早めに作るの汁物は味が変化したり、揚げ物は水滴でべた付いたり、麺類はだんご状態になる等、折角の料理がまずくなり困るといふ現場からの話を聞きました」と自校方式の良さを訴えました。

